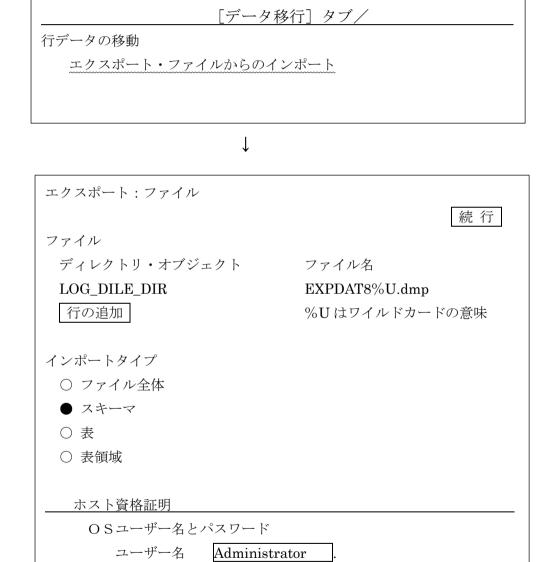
インポート操作方法

※ インポートを行う場合、事前にインポートするオブジェクトを手動で削除しておくこと が必要です。

データのインポートを行うには、

EMDC \rightarrow [データ移行] タブ \rightarrow 行データの移動・セクション中の「エクスポート・ファイルからのインポート」



1

パスワード

続行 ボタンをクリックすることにより、エクスポート・ファイルの仮読込みが行われ、中のメンバー情報(スキーマ名、表名)などが調査されます。 ステップ 1/5

インポートの対象を選択します

インポート:スキーマ
1/5 次へ
しつ USER1
O USEKI
※ 追 加 ボタンをクリックして、対象スキーマを追加します
<u> </u>
インポート: 再マッピング
2/5 次へ
【 行の追加 】 ※ データを別のスキーマや別の表領域に、インポートさせる
ことも出来ます
\downarrow
インポート:オプション
3/5 次へ
※ インポート処理のログを出力することが可能です
太インが 「定座のログを田がりることが可能です
↓
インポート: スケジュール
4/5 次へ
※ インポート処理のログを出力することが可能です
↓
インポート:スケジュール
5/5 ジョブの発行
PL/SQL のソースコードが表示される
※ ジョブ発行 ボタンをクリックするとインポート処理の タスクがスケジュールされます